

OYSTER PERPETUAL
EXPLORER



ROLEX

はじめてご使用になる際は

ロレックスをはじめてご使用になる際や、時計が止まった時には正確に動くようにゼンマイを巻く必要があります。

ゼンマイを巻くには、リューズを反時計回りに回し、ゆるめた状態で、リューズを時計回りに回します。

(逆に回してもゼンマイは巻かれません)

十分にゼンマイが巻きあがるよう、少なくとも25回転以上リューズを回してください。着用中は手首の動きによってゼンマイが自動的に巻かれます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んで元に戻してください。



お買い求めのロレックスについているグリーン
のタグは、高精度クロノメーターであることを意味します。
この独自の称号は、ムーブメントが COSC（スイス
公認クロノメーター検査協会）による公式認定
を受けており、さらにロレックスが自社内で行う
一連の最終検査を通過したことを証明しています。
クロノメーター精度及び、防水性能、自動巻、信頼性
を独自に検査することにより、ロレックスは機械式
腕時計の卓越性において新たな基準を打ち立てて
います。さらなる詳細は、[rolex.com](https://www.rolex.com)をご覧ください。



エクスプローラー

オイスター パーペチュアル エクスプローラー	4-7
------------------------	-----

操作方法

各部の名称	8-9
操作方法	10-11
イージーリンク	12-13

ロレックス アフターサービス

お手入れ方法	14-15
アフターサービス	16-17
ワールドワイドサービス	18

ROLEX.COM

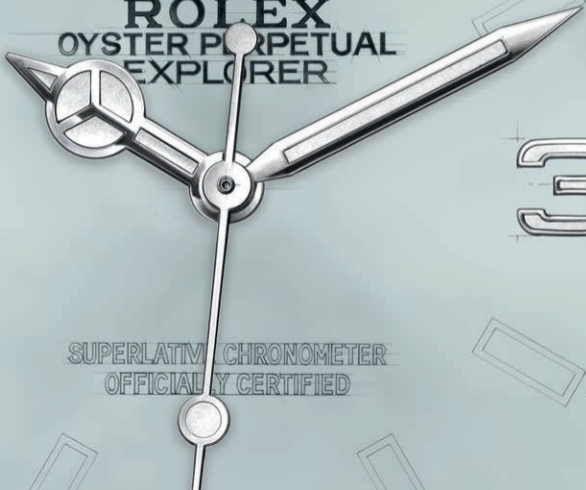


ROLEX
OYSTER PERPETUAL
EXPLORER

9

3

SUPERLATIVE CHRONOMETER
OFFICIALLY CERTIFIED



オイスター パーペチュアル エキスプローラー

1930年代、ロレックスは実際の状況下で時計の信頼性をテストするために世界を実験室として利用してきました。この先駆的な精神によりロレックスのオイスターウォッチは数多くのヒマラヤ遠征隊に装備されるようになりました。

1953年5月29日、サー・エドモンド・ヒラリーとテンジン・ノルゲイが初めてエベレストの頂上に到達。この二人はオイスター パーペチュアルを装備したイギリス遠征隊のメンバーでした。

世界最高峰の初登頂に成功した1953年にオイスター パーペチュアル エクスプローラーは発表され、瞬く間にアイコンとなりました。

エキスプローラーは、ロレックスと探検との密接な結びつきを象徴しています。

オイスター パーペチュアル エクスプローラーの36mmのケースは水深100m(330フィート)までの防水性能が保証されており、堅牢性の象徴となっています。サファイア クリスタルは耐傷性に優れます。ダイヤルは暗闇でブルーの光を放つ長時間継続の発光素材が採用されたクロマライトのアワーマーカーと針を備え、優れた視認性を提供します。

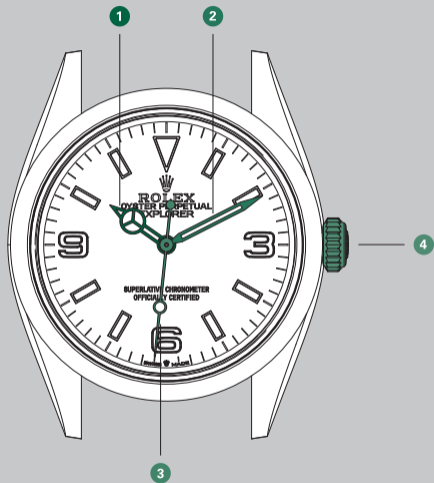
オイスター パーペチュアル エクスプローラーはロレックスの完全自社製造による機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

オイスター パーペチュアル エクスプローラーにはセーフティキャッチ付オイスターロッククラスプとイージーリンク(エクステンションリンク)を備えたオイスターブレスレットが採用されています。



各部の名称

- 1 時針
- 2 分針
- 3 秒針
- 4 トウインロックリユーズ(二重密閉構造)



操作方法

リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。リューズがこの位置にあるときに、オイスター パーペチュアル エクスプローラーは水深100m (330フィート) までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 – ゼンマイを巻く

リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回し、ゼンマイを巻きあげてください。

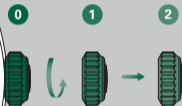
リューズ位置 2 – 時刻を合わせる

リューズを1段階引き出します。
リューズをいずれかの方向に回し時刻を合わせます。この位置では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。



はじめてご使用になる前に

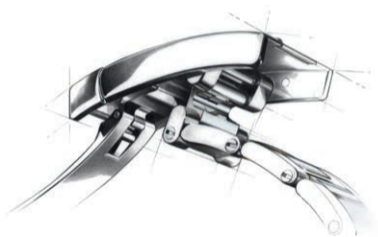
- ゼンマイを巻いてください。(リユース位置1)
- 時刻を合わせてください。(リユース位置2)



リユースをゆるめた後、外側に引き出します。

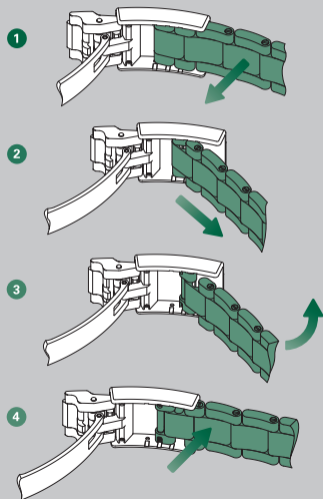
防水性を確実にするため、リユース操作後は、必ず十分にリユースをねじ込んでください。リユースをケースにねじ込むには、1の位置までリユースを戻してください。その後リユースをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリユースの操作は絶対にしないでください。

イージーリンク

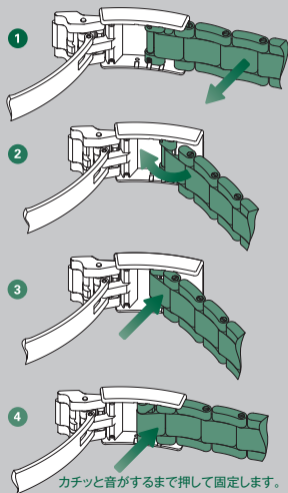


時計を快適に着用していただけるようにロレックスはイージーリンク(エクステンションリンク)を開発しました。独自の設計によりリンクを引き出したり、折りたたんだりして工具などを使わずにブレスレットの長さを約5mm調節することができます。

短い状態から長い状態にする場合



長い状態から短い状態にする場合



お手入れ方法

日々の簡単なお手入れによってご愛用のロレックスをより良い状態に保つことができます。

必要に応じて、柔らかい布(マイクロファイバークロス等)で拭いてください。ケースやブレスレットを柔らかいブラシと石鹼水で洗うことも可能です。また、海でご使用の後は、真水で海水や砂をよく洗い流してください。

お手入れの際は、防水性を確実にするために
リュースが最後までねじ込まれていることを
ご確認の上、行ってください。

アフターサービス

ロレックス ウォッチが最適な性能を保ち、精度と信頼性、防水性能におけるロレックスの厳しい条件を長きにわたり満たすために、ロレックスでは万全のアフターサービス体制を整えています。

時計が正確に時を刻み続けるために、ロレックスが特別に開発した高性能な潤滑油が使用され、摩擦を軽減し、部品の摩耗を防いでいます。正確性と防水性能の維持を確実にするために、ロレックスでは定期的なオーバーホールをお勧めしております。オーバーホールはロレックス正規品販売店またはロレックス サービスセンターで受け付けており、ロレックスのウォッチメーカーが承ります。

オーバーホールでは、ケース、ブレスレット、ムーブメントといった全ての構成部品が分解され、入念に検査されます。

ムーブメントは完全に分解され、すべての部品が綿密に点検されます。ロレックスの品質基準を満たしていない部品は新しい部品に交換されます。ムーブメントは再度組み立てられる際に注油されます。ケースとブレスレットは本来の仕上げに従って、ポリッシュ仕上げまたはサテン仕上げが施され、傷などが取り除かれ、輝きと光沢を取り戻します。

最後の工程で、時計の機能、防水性能、パワーリザーブおよびムーブメントの精度を確認するために一連の検査が行われます。

オーバーホールを終えたロレックスには、サービス保証書が発行されます。

ワールドワイドサービス

ロレックスの正規品販売店とサービスセンターは世界100カ国以上にネットワークを広げ、ロレックスのサービスセンターにはトレーニングを受けた熟練のウォッチメーカーがいます。

ロレックス正規品販売店では時計の機能やアフターサービスに関するご相談も承っております。ブレスレットのサイズ調整やオーバーホールについては、ロレックス正規品販売店やサービスカウンターまたは日本ロレックス サービスセンターにご相談ください。

ロレックスの正規品販売店およびサービスカウンター、サービスセンターについては [rolex.com](https://www.rolex.com) でご確認ください。

ROLEX.COM

rolex.com では時計の機能や品質、ロレックスの技術、ブランドの価値観などをご紹介します。

ようこそ、ロレックスの世界へ。

Rolex reserves the right to modify the models illustrated in this publication at any time.

© Rolex SA, 3-5-7, rue François-Dussaud, 1211 Geneva 26, Switzerland
IMR-EX-JA-21 - 4.2021

[rolex.com](https://www.rolex.com)

